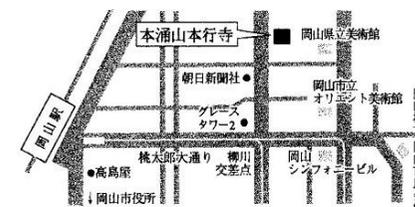


事業名	坂本長利ひとり芝居 『土佐源氏』
特色	俳優・坂本長利は37歳から独演劇『土佐源氏』を55年間にわたり演じ続けてきた。しかし、現下のコロナ禍により過去2年間は上演の機会が閉ざされていた。その空白を経てこのほどNPO法人アートファーム創立30周年の記念公演として、1220回目の名作独演劇が開催される。終演後には両日とも「土佐源氏とともに55年…92歳の旅は続く」と題したアフタートーク（聞き手：仲村映美）を併催する。
作品	『土佐源氏』は、民俗学者・宮本常一の著書『忘れられた日本人』に収録された馬喰の一代記。高知県梶原町に実在した牛馬売買人への聞き書きは、奔放に生きた常民へのリスペクトが綴られている。
陣容	原作：宮本常一著『忘れられた日本人』 演出・出演：坂本長利 音響・照明：袴田康裕 アフタートーク聞き手：仲村映美
日時	2022年4月9日(土) 開演18:30 開演30分前開場 10日(日) 開演13:30 同
会場	本涌山本行寺（岡山市北区蕃山町3-5）
料金	前売3,200円 当日3,500円 各日指定/全席自由 未就学児のご入場はご遠慮下さい。
前売取扱	プレイガイド：ぎんざや TEL=086-222-3244 岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL=086-234-2010 オンライン：アートファームHP 岡山河畔芸術祭 http://www.artfarm.or.jp
問合せ	NPO法人アートファーム TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764 E-mail=info@artfarm.or.jp



1929年(昭和4年)、島根県出雲市生まれ。「ぶどうの会」「変身」等の劇団を経て、小劇場運動の先駆けとして活動。大劇場での商業演劇公演も含め、映画・テレビ・ラジオドラマなど、あらゆるシーンでその演技力と存在感を発揮してきた。70年を超える芸歴の中で、数多くの名だたる俳優と共演し、作家・演出家からも高い評価を得ている。テレビドラマでは『Dr.コトー診療所』の村長役で親しまれた。2013年公開の坪川拓史監督映画『ハーメルン』では、西島秀俊、倍賞千恵子らと共に主演。2019年には小林薫主演の人気ドラマ『深夜食堂-Tokyo Stories Season 2-』にゲスト主演。代表作である独演劇『土佐源氏』は、1967年の初演以来、半世紀にわたって国内のみならず海外でも絶賛される。2011年の胃ガン手術後も精力的に舞台に立ち続け、呼ばれたら全国どこへでも出掛けて上演する“出前芝居”を現在も展開中。1985年紀伊國屋演劇賞特別賞、2000年旅の文化賞、2020年テアトロ演劇功労賞受賞。2017年ゆすはら未来大使(土佐源氏の故郷・高知県高岡郡梶原町)就任。



本涌山本行寺（岡山市北区蕃山町3-5）
※JR岡山駅から徒歩10分 ※会場に駐車場はありません。